

教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)
 予約購読料 1年分 千円 3,962円
 紙代のみ 3,080円
 振替 00140-9-145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
 FAX03(3207)3918
 URL http://uccj.org
 発行人 網中彰子
 編集主筆 米山恭平
 印刷所 株式会社きかんし



福島新町教会 (東北教区)

イースターメッセ

死に勝利された復活の主

コリントの信徒への手紙 15章12〜20節

キリストは復活しなかつたのか

コリントの信徒への手紙一15章において、パウロはイエス・キリストの復活と私たちの復活について力を込めて説き明かしています。特に12〜20節では、パウロはコリント教会内にある問題に触れています。それは「死

人の復活などはない」と主張する者がいたということです。しかしキリストの福音とはキリストが私たち人類の罪の贖いのため十字架で肉を裂き、血を流して死んでくださったこと、そして三日後に復活されたこと、満たされて「主イエスは

す。それがキリスト教会の根本的メッセージでありました。

十字架におかかりになるイエスを見捨てて逃げた頼りない十二弟子たちも復活のお姿に出会い、ペンテコステ後は聖霊に

真によみがえられたと、驚くほどに復活の主イエスを伝えました。それによって教会は建てられたのです。

熱心なユダヤ教徒であったパウロは教会迫害の急先鋒でした。キリスト者をエルサレムに連行するために旅をしてタマスコに近づいたとき、突然天からの光が彼の周りを照らし「サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞きました。彼はこのとき復活の主との出会いを体験したのです。こうしてパウロは、世界宣教へののり出して行きました。

「わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもないはず

を照らし「サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞きました。彼はこのとき復活の主との出会いを体験したのです。こうしてパウロは、世界宣教へののり出して行きました。

「わたしは、神の教会を迫害したのですから、使徒たちの中でもないはず



瀧山 勝子

復活がなかったら宣教は無駄

キリスト教の根本的メッセージは「主イエスは復活された」ということです。それを取ってしまつても残らないというものをパウロは語りま

す。「キリストが復活しなかつたのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」(14)と言

切っています。「無駄」と二度くり返されているのを見てもその重大性が分かります。キリストの復活が最重要であるので、身代わりの死を遂げると共に、罪と死に勝たなくては本当の人類の救い主になることはできません。イエス・キリストの復活は罪と死と悪の力に対する勝利なのです。

「復活なんて言わなければ、もっとキリスト教は信じやすいのに」という人は今でもいます。

「復活なんて言わなければ、もっとキリスト教は信じやすいのに」という人は今でもいます。

主は死に勝利された

19節に「この世の生活でキリストに望みをかけているだけだとすれば、わたしは死に勝てない」とあり、私たちが、イエス・キリストにどのような希望を抱いているでしょうか。単にこの世で、ただその時その時助けていただけというならば惨めな者だとパウロは言うのです。

主イエスは罪と死に對する勝利者であり、私たちの復活の希望であります。使徒信条で「身体よみがえりを信ず」と告白するように、私たちはこの世でも死んだ後でもイエス・キリストに結

ばれて生き続けることになるのです。

私たちが「何よりも手ごわい敵は死ではないでしょうか。私たちは愛する者の死を次々と体験していきます。そして自らも病を通して、また年齢を重ねて行く中で「昨日はできていたことが、今日はできなくなる」とい

という経験をします。老いていきます。確実に死に近づいていきます。

「人間にはただ一度死ぬること、その後には裁きを受けることが定まっているように」(ヘブライ9・27)と聖書にありますが、主イエスが私たちの罪の裁きを十字架で身代わりに受け、そして復活して下さったことが救いであり、死に勝利された主イエスを信じるからこそ私たちも復活の約束を信じ、やがてこの地上の死をも恐れることなく歩んでいきます。

「死は勝利にのみ込まぬこと、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜う神に、感謝しよう」(コ

震災を超えての希望

15年前の東日本大震災。私たちの福島県も最大震度6強の揺れと、原発事故による放射線のために大きな被害を受けました。線量計が手放せない時期もあり、当初はパニックになりました。当時築83年のヴォーリス設計の福島新町教会の会堂もあわや解体の危機に見舞われました。しかし建築構造などを調べていただき、死んだような礼拝堂も一年半後にほとんど元のまま立派によみがえりました。多くのお祈りとお支えがあり感謝で

した。今でも修復されたヴォーリスの会堂を全国から見学に来る方がおられます。この震災によって私の次女は、たくさんの方々の死の前に「自分が死ぬ前にやりたいことは何か」と神に問われ献身に導かれました。

死と正面から向き合うとき、死に勝利されたよみがえりの主を宣べ伝えずにはおられません。「この人」による以外に救いはありません。

「死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりなさい」。御言葉が心に染みます。

(福島新町教会牧師)

東日本大震災から15年

放射能問題支援対策室いずみ
会津放射能情報センター
東北ヘルプ

神に託された世界をより良く次世代に繋いでいくために
原発事故による放射能被害の現状とこれから



左から 川上氏、片岡氏、小林氏

震災直後、教会が教派を超え、大学やYMCA等と協力して支援に取り組むため、3月18日に事務所を開設。WCC（世界教会協議会）やACT（アクトアラミアンス）あるいはJEA（日本福音同盟）等による支援の受け皿になった。放射能計測所を仙台、いわき、郡山、福島に設置。計測所を窓口にして、震災と向き合っている人と出会うことを目標にした。

放射能被害状況
2011年10月、福島県は、「県民健康調査」として、事故当時18歳以下の県民38万人を対象に「甲状腺検査」を始め、2025年6月30日現在、361人に甲状腺がんが見つかり、内303人が手術をしている。この結果については、一定程度集団検診によるスクリーニング効果も含まれている可能性が指摘されているものの、甲状腺が

ん発症に地域差があり、放射能が高い地域ほど、高い発症が見られ、原発事故によって放出された放射線の影響を受けていると指摘されている。また、1回目検査で、2011年当時0〜18歳だった30万人から見つかった甲状腺がん患者115人全員が被ばくで発症したとする報告もあり、これは100万人あたり383人となる。この結果は、がん統計の100万人あたり2人に比して200倍近い数となる。一方、事故とは無関係の通常発症率を求めた宗川吉生教授は、1回目検査の患者115人の内、事故前発症は47人、事故後通常発症20人、被ばく発症48人とし、事故後の被ばく発症は通常発症の2.4倍とした。

「仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク・東北ヘルプ」の働き
震災直後、教会が教派を超え、大学やYMCA等と協力して支援に取り組むため、3月18日に事務所を開設。WCC（世界教会協議会）やACT（アクトアラミアンス）あるいはJEA（日本福音同盟）等による支援の受け皿になった。放射能計測所を仙台、いわき、郡山、福島に設置。計測所を窓口にして、震災と向き合っている人と出会うことを目標にした。

盟）等による支援の受け皿になった。放射能計測所を仙台、いわき、郡山、福島に設置。計測所を窓口にして、震災と向き合っている人と出会うことを目標にした。

また、U MC（合同メソジスト教会）から送られた3000万円を原資に、短期保養の交通費を支援。支援した方と面談し、2016年までに208世帯の方から聞き取りを行い、不安を抱きながら子育てに励む親たちの声をまとめた。

現在は、教団の常磐教会の中にある計測所で、「チームママベク」という母親たちのグループの活動を支援している。土壌の汚染を計測し、ホットスポットが見つかった場合は、安全対策を行政に求めている。

2025年9月にも2,000〜3,000 Bq/kg、最も大きくて5,000 Bq/kgの放射能が公園で確認されている。日本では、国が指定廃棄物として処理する基準は8,000 Bq/kg以上であるが、この基準はチェルノブイリで住民の強制退去地域となる520,000 Bq/m²と同程度。2,000〜3,000 Bq/kgの数値は、ロシアでは、「放射線被害対策医療措置、住民の生活レベル向上のための環境保全・精神ケアサポートが実施される」べき状況だが、空間線量が低いことを理由に、な

かなか動いてもらえない現実があるという。川上代表は現在、超教派の交わりが続いていることを踏まえ、「ふくしまYMC A」を立ち上げるヴィジョンを掲げ、原発事故が起こった3月15日には、福島市内の諸教会に呼びかけて福島教会で祈祷会、交流会の開催を計画している。

「東北教区放射能問題支援対策室いずみ」の働き
東北教区の働きとして、2013年から活動を開始。「保養プログラム」、「甲状腺検査」、「傾聴と訪問」を主な活動として来た。

甲状腺検査は、国がカバーしていない宮城県を中心に実施し、昨年の2月で100回を迎えた。2025年3月までの累計で、4370人に検査を行い、C判定（直ちに二次検査を要する）は0人、B判定（5mm以上の結節、20.1mm以上ののちを認め、二次検査をすすめる）が83人となっている。低線量地域であっても長期的に晒されることで人体に影響が出る可能性もあり、長期的視点を持った活動を積み重ねて行くことの大切さを受け止めて励んでいる。

小林運営委員長は、帰宅困難地域に指定されている双葉町の自宅に一時帰宅したTさんと同行した時の様子を動画と共に紹介してくれた。空間線量10ミリシーベルト程度、家に足を踏み入れると物が散乱し、洗濯物も干したままという震災直後の状態が残る。Tさんは、「津波で流された方が良かった」と本音を漏らす。「家に帰る度に、『何故、このようなことになってしまったのか』という思いが怒りと共によみがえる」と言う。アメリカの心理学者ポリン・ボス博士が「あまいな喪失」と呼んだ、「はつきりしないまま残り、解決することも、決着を見ることが不可能な喪失体験」に苦しむ人々の心の復興のために寄り添うことも課題だという。

師から被ばく防護の重要性を繰り返して学んだ。2012年から12年間、新潟教会の支援を受け保養施設「いがたはうす」を運営。春・夏休みには神戸や北海道の教会で保養プログラムを行った。現在は定期的に講演会を開催し、「子ども脱被ばく裁判」の事務局長を担い、「宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判」に参加する等、権利回復を求める活動に加わる。

福島から遠隔の地域の土壌測定にも取り組んでいる。これは311以前にデータが分からず数値の判断に苦労した経験から、近隣原発で事故が起きた際、再び同じ地点の土壌を測定し、避難や被ばく防護の判断に役立ててもらおうことを目的としている。

震災から15年が経った現状について、「廃炉作業の困難さや被害者の苦悩を置き去りにしてまるで原発事故が終わったかのように再稼働を強行する国の有り様を強く憂慮している」と3団体の代表者は述べる。川上代表は「風化という風評被害」が酷くなっていることを指し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

また福島県浜通りでは技術革新を目指す国家プロジェクトとして工場や研究施設の誘致が進められていること、大熊町では保育園から中学校まで一体化した学園が建てられ新しい家族が移り住んでいる実態が紹介され「煌びやかな未来構想が示されるほど原発事故への怒りや悲しみを口にしよう」と指摘する。

片岡氏は、放射能の被害は、目に見えず、すぐに出て来るものではないので、事故の責任も有耶無耶にされている。だからこそ事実を伝え続ける必要があると指摘。「神に託された世界をより良く次世代に繋いでいくために、自ら調べ、学ぶ中から神に最も喜ばれる生き方を選び取っていきたい」と語る。

小林氏は、時間と共に風化することは避けられないが故に、意識的に関心を持って行くことが大切であると述べ、「報告に目を通す等、些細なことでも大事にして覚えて欲しい」と語る。

川上氏は、東日本大震災は、関連死と認められなくとも「遠因死」に該当するものは甚大になることを指摘し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

川上氏は、東日本大震災は、関連死と認められなくとも「遠因死」に該当するものは甚大になることを指摘し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

川上氏は、東日本大震災は、関連死と認められなくとも「遠因死」に該当するものは甚大になることを指摘し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

川上氏は、東日本大震災は、関連死と認められなくとも「遠因死」に該当するものは甚大になることを指摘し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

川上氏は、東日本大震災は、関連死と認められなくとも「遠因死」に該当するものは甚大になることを指摘し、事故で喪われた命が、間違いなく神さまの祝福の内にあることを証することとを述べた。

教師検定試験公告

2026年秋季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 一、受験要綱の申し込み
受験要綱と教団指定の願書用紙は165円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。3月30日以降にお渡しします。
- 二、受験願書の提出
受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
- ①教区締切 2026年6月5日（金）
（教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください）
- ②教団締切 2026年7月2日（木）
（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

- *受験料は正教師1万3千円、補教師1万円。
- 三、正教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 出エジプト記24章1〜8節
②新約 ローマの信徒への手紙8章31〜38節
- 四、正教師の「神学論文」の課題
『今日における宣教の課題』に、特に「をめぐって」という副題をつけ、ご自分の伝道・牧会をふまえて神学的に論述してください。
- 五、正教師の「組織神学」の課題
神の選びと義認と聖化について述べてください。
- 六、補教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 創世記11章1〜9節
②新約 ルカによる福音書7章11〜17節
*コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱で確認してください。
- 七、補教師（Cコース）の牧会学の課題
『牧会とは何か』について神学的に論述してください。
- 八、提出物締切について
当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」「神学論文」「組織神学」「牧会学」全て2026年7月3日（金）午前必着です。
- 九、学科試験・面接試験について
学科試験は9月15日（火）、面接試験は9月17日（木）、18日（金）に大阪クリスチャンセンターにおいて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。

2026年3月28日
日本基督教団教師検定委員会
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話 03-3202-0546

社会委員会

社会福祉施設援助金の送金先と援助額を決定

第4回社会委員会は2月16日、ズームによるオンラインで開催された。中本純委員による開会礼拝をささげた後、各報告を受けた。協議事項は以下の通り。

◎全国社会委員長会議に関する件
テーマを「現代に生きる教会の備え」とし、6月22〜23日、教団会議室で開催する。各教区の活動報告を受けた後、能登

半島地震をめぐって現地委員会の成り立ちや働きを松島保真同委員会委員長より、また教団コーディネーターの働きを能登半島の現状と合わせて内城愛氏より報告してもらう。

◎2025年度社会福祉施設援助金送金先と援助額に関する件
5教区より5施設の申請があり、協議の結果、以下の施設に各10万円を送金することを決めた。

◎社会委員会通信第53号に関する件
フィールドワーク報告、全国社会委員長会議報告の他に、日本キリスト教社会事業同盟と日本キリスト教保育所同盟について掲載することとした。

◎その他
募金に関して、ミャンマー地震救援募金を2026年3月末で終了、ウクライナ救援募金と方々被災者救援募金は2026年8月まで延長することとした。

教師委員会

戒規の適用を決議

2月24日、松沢教会(東京・西南支区)を会場に第6回教師委員会を開催した。当日は午前中に農村伝道神学校を訪問したこと、教師検定試験と重なったことから会場を委員の教会に移して開催した。

8月17〜19日、日本聖書神学校を会場に行う「教師継続教育研修会」の主題の検討、講師の選出等、詳細は次回委員会で確認することとした。

本委員会で時間を割いたのは「大沢章夫教師に

6月22〜24日の日程でハートピア熱海で開催予定の「新任教師オリエンテーション」の詳細について話し合った。プログラムの検討、講師の確認、委員の役割分担について協議した。これまで二日目午後は自由時間とし、委員会開催の時間としてきた。しかしながら昨年度の参加者から教団四役と話す時間が欲しい

7月13〜15日に予定されている能登半島被災地問安の件についても取り

停 職

日本基督教団正教師 大沢章夫

上記の者、教規第141条並びに戒規施行細則第3条第3号に基づき、『停職』に付す。

2026年2月24日

日本基督教団教師委員会 委員長 福島純雄

戒規適用にいたる経過

2022年5月23日付で西中国教区から大沢章夫教師(無任所教師)に対する戒規適用申請がなされた。当委員会は2025年6月25日これを受理。内規に従って調査委員会を設置し、申請内容について関係者それぞれに対し4回にわたる事実確認調査を実施した。

(教師委員長 福島純雄)

事務局報

中村 栄(無任所教師)



20年7月14日逝去、64歳。北海道生まれ。09年日本聖書神学校卒業、10年より12年まで練馬二丁目伝道所を牧会。

遺族は弟・中村望さん、深瀬昭三郎(隠退教師)



22年4月27日逝去、91歳。神奈川県生まれ。95年東京神学大学院修了、同年より平原教会を牧会し、09年隠退。

遺族は妻・深瀬ヒサさん、古河静子(隠退教師)



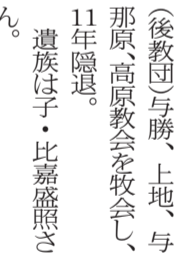
26年1月17日逝去、104歳。大阪府生まれ。73年受允、79年受按。74年より香櫨園教会を牧会し、05年隠退。

遺族は子・古河牧人さん、比嘉盛二郎(隠退教師)



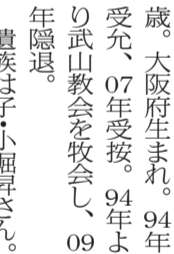
25年11月24日逝去、93歳。

歳。沖縄県生まれ。59年日本聖書神学校卒業、同年より沖繩キリスト教団(後教団)与勝、上地、与那原、高原教会を牧会し、11年隠退。



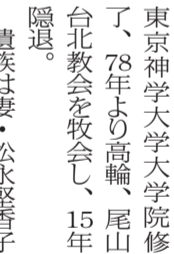
遺族は子・比嘉盛照さん、小堀新平(隠退教師)

25年12月16日逝去、96歳。大阪府生まれ。94年受允、07年受按。94年より武山教会を牧会し、09年隠退。



遺族は子・小堀昇さん、松永久和(隠退教師)

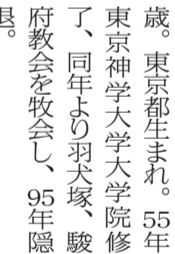
26年1月17日逝去、75歳。熊本県生まれ。76年東京神学大学院修了、78年より高輪、尾山台北教会を牧会し、15年隠退。



遺族は妻・松永堅香子さん、西 豊(隠退教師)



26年1月24日逝去、98歳。東京都生まれ。55年東京神学大学院修了、同年より羽犬塚、駿府教会を牧会し、95年隠退。



遺族は子・西裕さん。

社会委員会取り扱い救援募金 募金期間の件

下記のように終了または期間継続をいたします。

- ◎ガザ救援募金 ウクライナ救援募金
*募金期間 2026年8月末まで継続
◎ミャンマー地震救援募金
*募金期間 2026年3月末で終了
◎能登半島地震救援募金
*募金期間 特に定めず
(通信欄に「ガザ」、「ウクライナ」、「ミャンマー地震」、「能登半島地震」救援募金等々内訳をお書きください。)
*送金先加入者名 日本基督教団社会委員会
*郵便振替 00150-2-593699

- ◎台湾地震救援募金
*募金期間 2025年3月末で終了しました。

2026年2月16日

日本基督教団第43総会期社会委員長 真壁 巖

牧野邦久(隠退教師)



26年1月26日逝去、90歳。神奈川県生まれ。62年日本聖書神学校卒業、同年より横浜上原、竹原、周陽、横浜二ツ橋教会を牧会し、13年隠退。

遺族は妻・牧野明美さん、中山 忍(隠退教師)



26年1月31日逝去、92歳。東京都生まれ。55年東京聖書学校卒業、同年より香川、琴平、香川伝道所(75年より教会)、山梨八代、紀伊長島教会を牧会し、11年隠退。

遺族は妻・中山倫子さん、任担任教師)



26年2月11日逝去、58歳。大分県生まれ。90年関西学院大学卒業、同年より大分、波佐見、伊万里、吹田、神和、仙台五橋、小田原教会を牧会。

遺族は妻・豊田朱美さん。

松本希和(隠退教師)



26年2月1日逝去、85歳。静岡県生まれ。67年東京神学大学院修了、同年より松沢、東舞鶴、静岡一番町、中野、野田、千葉南教会を牧会し、12年隠退。

遺族は妻・松本聖美さん。

教師異動

西宮 一麦

辞(主)橋本いずみ

就(代)高橋 爾

辞(担)小嶋健太

辞(主)野澤幸宏

巻祝福辞(兼主)野澤幸宏

就(代)小池正造

筑後福島就(代)秋永好晴

横濱中田辞(主)杉山悠世

就(代)宇野信二郎

南山 就(担)大塚 棕

八重山中央

辞(主)増田陽一

就(代)小林 明

内灘 就(代)井ノ川勝

就(主)桶谷忠司

